広報 くにみ
No.231
平成4年9月15日
発行・編集 国見町総務課

おもな内容

9月15日は「敬老の日」……2～3
斎藤先生の高体連会長就任を祝う……4
10月は体力つくり強調月間……5
保険証の更新が始まります……6
ふるさとの文化財……7
おしらせ……8～9
公民館だより……10～11
わだい……12

伝承遊びで交流を深める

'92 9月

阿津賀志学級生と少年仲間づくり教室の子どもたちは8月19日、町公民館で伝承文化を伝える集いを開き、交流を深めました。

約150人が参加したこの集いでは、阿津賀志学級生の赤間ハルさんから国見の民話を聞いたあと、参加者全員で「あやとり」「かごめかごめ」「指ずもう」などを楽しみ、阿津賀志学級生の皆さんも童心にかえり、慣れた手付きで子どもたちに遊びを教えていました。

9月15日は敬老の日

9/15 ⇨ 9/21

老人福祉週間

九月十五日は敬老の日。また、この日から一週間は老人福祉週間です。

私たちの町には、六十五歳以上のお年寄りが、五月一日現在で二千百五十五人います。高齢者の割合は、町全人口の十八%となっており、しかも、高齢者の比率は年々増える傾向にあります。

町では、九月十一日町民体育館で敬老会を開催し、今年十一月にめでたく百五歳を迎えられる鴨田惣太郎さん（内谷西）に賀寿祝金贈呈をはじめ、長寿写真贈呈や寿座布団贈呈を行い、ご長寿を祝福しました。

長い間、社会に貢献してこられましたお年寄りの皆さんのご長寿を祝福し、ますますのご健康とご健勝を心からご祈念申し上げます。

私の大好きな祖父と祖母

藤田小六年　本田　育実

「育美かぜひくなよ。体に気をつけなさい。ゆっくり休みなさい。」

というのが祖父母の口ぐせです。小さい頃からぜんそくでひどかった私を、とても心配しながらあたたかく見守ってきてくれました。だれに対してもやさしく接し、働き者の祖父母が大好きです。

私の家は衣料店で、祖父と祖母は、二人とも元気で父と母といっしょに働いています。

祖父は、六月で七十歳になりました。体は小さいけれど、店の大黒柱です。五年前に胃の手術をした時は、家の中が火が消えたようになりました。私にとっても家にとっても祖父はとっても大切なんだと実感しました。病気も完全に治り、前以上に元気です。休みの日など、ゴルフや旅行に行って若がえってきます。私たちへのおみやげも忘れません。七十歳になって医りょう費が安くなる通知が来た時、「年をとったなあ。」と、ちょっとがっかりしたそうです。でも、これは、今まで一生懸命働いてきたごほうびだと思います。まだまだ若いので体に気をつけてがんばってほしいと思います。

本田育実さん

祖母は、店で働いたり、食事の用意をしています。なれた手つきで、上手に食事を作ります。祖母の作ったものの味は、最高だと思います。祖母は、いつもにこにこしていて、そのステキな笑顔を見ると、心が落ち着き、明るくなってきます。時々がんばりすぎてかぜなどひくことがあります。私は、心配でしょうがありません。あまり無理をしないで、がんばってほしいと思います。こんなすばらしい祖父母がいて、いっしょにくらせる私は、とっても幸せだなと思います。祖父は今回初めて敬老会に招待されました。

来年は、祖母も七十歳になります。いつまでも元気で、毎年二人そろって参加できるように健康に気をつけて、ハツラツおじいちゃん、おばあちゃんでいてほしいと思います。

私の祖父

小坂小六年　高橋真理子

私の祖父は、今年、七十九歳になりました。でも、とても七十九歳とは思えないくらいの若さで、いろいろなことをしています。特に、文学愛好者でもあり、読書が大好きで、とても物知りです。また、書道はとても上手で、私も、時々教えてもらっています。その他にも、自分の生いたちから今までのことをつづった自じょ伝や、短歌、俳句なども書いています。

それに、祖父はき帳面で、毎日、早ね早起きをしています。そういう祖父の規則正しい生活が健康のひけつなのだな、と思います。

私が去年、学校で足の骨を折った時、毎日、車で学校まで送りむかえをしてくれました。祖父は、七十九歳なのに、車の運転もでき、足を折った時は、すごくありがたいと思いました。なかなか治らなくて病院から整骨院に通った時も、毎日、定期便のように学校に来てくれて、整骨院に連れて行ってくれました。

高橋真理子さん

祖父の車の免許は、五十五歳ごろに取ったと聞かされています。五十歳を過ぎてから自動車学校に通い勉強することは、並たいていの努力では、なかったと思います。今でも、祖父はいろんなことにチャレンジしています。そんな祖父を見ていると、すごくえらいなあと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。私も、祖父を見習って、いろんなことにチャレンジしていきたいと思います。

祖父の楽しみは、テレビの時代げきを見ることや、カラオケで歌うことなどです。時代げきの中でも、水戸黄門は好きなようです。カラオケは、演歌が大好きで、家でも、よく歌っています。

これからも、このような楽しみを持って、いつまでも、祖父に、長生きしてほしいと思います。

おじいちゃん　おばあちゃん　ながいきしてね

（タイトルを書いてくれたのは、森江野幼稚園のししどひとみちゃんです）

ご長寿おめでとうございます

平成4年9月15日現在
（85歳以上の方・敬称略）

▽104歳　鴨田惣太郎（内谷西）

▽97歳　佐久間うめよ（大町南）

▽96歳　鈴木キセ（川内）

▽95歳　一條ヨシ（太田川）　黒田ヨシノ（泉田下）　吉田シツマ（第四）　佐藤トキハ（第七）　村上ユリ（第九）　佐久間ナヨ（第二）　遠藤フク（光明寺）　佐藤トヨ（北部）

▽94歳　野田長四郎（並柳）　佐久間代次郎（第十一）　渡辺ミヨ（滝山）　阿部ツルノ（大木戸）

▽93歳　菅野富蔵（内谷西）　菅野喜一（内谷東）　斎藤勘吉（徳江北）　吉見照代（宮町北）　冨塚キチ（小坂）　実沢サキ（第九）　佐藤サダ（高城）

▽92歳　吉田重兵衛（山崎舘）　佐藤倉治（第十二）　八島けさを（本町）　仲田トク（宮町北）　小野カツミ（第一）　鈴木フサノ（川内）

▽91歳　松浦權治郎（石母田西）　実沢平作（第八）　岩城キクノ（大町南）　板垣サダ（大町南）　渡辺ウメ（宮町南）　赤坂ハル（内谷西）　小幡イマ（第一）　佐久間マサヨ（第二）　鈴木ラク（貝田）　瀬戸トミヨ（中部）　佐藤あやを（川内）

▽90歳　佐藤寅一（宮町北）　須田滋一（町東）　佐藤善次郎（小坂）　朽木松吉（前田）　佐野謙（第八）　羽賀トキワ（駅前）　高橋アイ（本町）　村上トヨ（第八）　佐藤キイ（貝田）　鈴木キ（川内）　鈴木タケ（川内）

▽89歳　高橋徳太郎（大町南）　吾妻寅吉（鶉町）　八島正二（山崎北）　武田岩吉（泉田下）　小野寺省二（泉田中）　吉田嘉蔵（第四）　寺島長太郎（第十）　大槻清（貝田）　石川卯蔵（貝田）　国分いちの（錦町）　後藤ヨテ（大町南）　中野よすみ（鶉町）　佐藤ナヲ（石母田東）　高橋ヨシエ（山崎北）　吉田マツノ（山崎舘）　熊坂テツ（内谷西）　佐野キヨ（第八）

▽88歳　佐藤元一（小坂）　阿部林右エ門（泉田下）　菊地唯七（第十一）　桜沢兼太郎（高城）　板橋琢治（並柳）　松浦眞（並柳）　鈴木清六（川内）　岡崎ハツヨ（大町南）　菊地ハク（大町南）　本間キヨ（大町北）　穂苅こと（本町）　五十嵐りヨ（鶉町）　阿部クラヨ（石母田表）　佐藤キハ（石母田表）　黒田ツヨ（宮町南）　横山サキ（小坂）　長谷川さきよ（前田）　佐藤ギン（泉田上）　鴨田セキ（内谷東）　佐久間芳（第二）　石川ヨツ（第四）　八巻キヨ（第七）　佐野キヨ（第七）　佐久間ハン（第十二）　佐藤ヒロ（貝田）　八島アキ（高城）　佐久間カネ（川内）

▽87歳　羽根善助（錦町）　遊佐保平（錦町）　沼田次郎（宮町北）　佐久間岩吉（宮町北）　宍戸巳吉（石母田北）　林徳治（泉田上）　佐藤喜一（泉田上）　佐藤清重（第二）　大波一郎（第九）　蓬田勝（第九）　高橋徳治（第十）　高橋勇記（第十一）　阿部辰三（大木戸）　大波スヘ（宮町北）　谷津トメ（第一）　大津テル（第一）　武田フミ（第三）　引地カネヨ（徳江北）　蓬田ゆり（第九）　吉田ハル（貝田）　松田トミエ（貝田）　星野タリイ（光明寺）　桜澤ハツ（高城）　渡部キヨシ（高城）　松浦カツヨ（大木戸）　鈴木カツイ（川内）

▽86歳　斎藤末吉（石母田表）　宍戸義夫（石母田北）　高橋利三（滝山）　田口定爾（小坂）　新村国治（内谷東）　小林成夫（並柳）　佐藤カツ（宮町南）　五十嵐カネ（鶉町）　宍戸きよ（石母田北）　吉田ハル（山崎舘）　佐藤マサノ（石母田西）　安孫子コン（泉田上）　小野寺テル（泉田中）　佐藤たけ（泉田下）　赤坂チャウ（内谷西）　菅野ナカ（内谷東）　三の輪フヨ（第一）　武田キミヨ（第三）　八巻ミン（第七）　村上ロク（第九）　村上カネ（第九）　渋谷シン（光明寺）　吉川ムメ（山根）　児島ミツエ（山根）　木村フク（川内）　鈴木よしい（川内）

▽85歳　須田泰山（本町）　秦卓二（本町）　若林正一（泉田中）　斎藤義吉（第四）　菊地新一（第十）　佐藤甫（北部）　佐藤喜二郎（北部）　黒田壽美子（駅前）　佐久間コト（錦町）　佐藤サキ（大町南）　武藤キクノ（宮町南）　佐久間コウ（宮町北）　阿部マサヨ（宮町北）　田村やすの（宮町北）　位高クニイ（山崎小舘）　菅野壽榮（源宗山東）　佐藤チヨ（小坂）　佐藤きくゑ（太田川）　鈴木ハルヨ（板橋）　宍戸マサ（第一）　佐藤ミノ（第二）　佐藤ツル（第二）　小池トク（第三）　佐藤コト（徳江北）　渡辺ツメ（徳江北）　村上テツ（第八）　菊地キク（第十一）　桜沢シモ（光明寺）　渋谷キシ（光明寺）　村上妙春（山根）　鈴木タケヨ（築舘）　鈴木ワキ（川内）

斎藤久先生の高体連会長就任を祝う

国見町出身で、現在、福島商業高等学校校長の斎藤久先生が、今年四月県高等学校体育連盟会長に就任、その就任祝賀会が八月三十一日、JA福島国見町会館で開かれました。

祝賀会には県、県高体連、(財)県体協、町、町議会の関係者をはじめ約百人が出席。冨永武夫町長、神津武志町体協会長の発起人あいさつ、柴山進県保体課長、本宿尚県体協副会長の祝辞に続き、斎藤先生が「平成七年のふくしま国体を控え、責任の重さを痛感しています。県のスポーツ振興に尽くしたい。」と謝辞を述べました。

出席された皆さんは、斎藤先生を囲み、就任を祝うとともに今後の活躍を期待していました。

▲謝辞を述べる斎藤久県高体連会長

町に知事感謝状

～個人県民税～

国見町は、平成三年度の個人県民税収納成績優良町村に選ばれ、福島県知事から感謝状が贈られました。

伝達式は去る八月十日、役場町長室で行われ、原田重胡福島県税事務所長から冨永町長に感謝状、小林光雄町納税貯蓄組合連合会長に記念の盾が、それぞれ手渡されました。

国見町が優良町村に選ばれたのは今年で七年連続。この度表彰を受けたことは、町民の皆さんをはじめ、納税貯蓄組合長さんの税に対する深いご理解とご協力のたまものであり、深く感謝を申し上げます。

▲感謝状を受ける冨永町長と小林町納貯連会長

婦人農業士に高橋静子さん

県では今年度から県婦人農業士制度が発足し、県内四十名の婦人のかたがたが八月六日、福島市の杉妻会館において認定されました。

伊達普及所管内では国見町と霊山町からそれぞれ一名が認定され、高橋静子さん（貝田字山ノ神前49）が知事より認定証の交付を受けました。

優れた農業経営と豊かな農家生活を築くうえで、婦人の果たす役割は重要であり、このため農業経営と農家生活の向上に意欲的に取り組む婦人農業者を「婦人農業士」として認定し、農村婦人の社会的評価を高めるとともに、地域の婦人リーダーとして活動を促進することを目的に設けられた制度で、今後、次の四項目

1. 地域におけるモデル的農家経営の実践
2. 農村婦人及び婦人組織活動等に対する助言
3. 快適で美しい農村環境整備に係る推進協力
4. 農村生活や地域農業振興に対する調査及び提言

の任務を受け、スタートしました。

高橋静子さん

11月15日は町長選挙投票日です

九月九日、町選挙管理委員会が開かれ、任期満了に伴う国見町長選挙は11月10日告示、11月15日投票日で行われることに決まりました。

また、国見町議会議員補欠選挙（欠員一名）についても同時に執行されます。

◇立候補予定者説明会
10月16日（金）
午後1時
役場二階第一会議室

高齢者の皆さん親ぼくを深める

町老人クラブ連合会（斎藤正美会長）主催の高齢者研修視察は八月二十七日、猪苗代町中の沢温泉の保養センター母成で行われました。

高齢者の親ぼくを深めるために毎年行われているもので、今年は約百五十人が参加。日頃の疲れをいやすとともに、楽しい一日を過ごしました。

▲親ぼくを深めた高齢者研修視察

はばたけ世界へ！
うつくしま　ふくしま空港

福島空港開港まつり

9月27日（日）
AM 9：00～PM 4：30
入場無料
福島空港施設内
〈先着2,000名様に素敵なプレゼント〉

10月　体力つくり強調月間

レッツ　エンジョイ　ウォーキング

　あなたは、自分が一日に何歩歩いているかご存じですか。「測って歩いているわけでもないし、分からない」と答えるでしょう。それもそのはず。歩くということは生活の一部ですから、特別な理由がない限り、意識して歩いているという人のほうがめずらしいといえます。

　ところで、最近、この「歩く」ということが見直されています。だれにでもできるスポーツ「ウォーキング」として注目を浴びているのです。

　10月は体力つくり強調月間。あなたも歩くことを見つめ直し、もっと積極的に生活の中に取り入れてみませんか。さあ、レッツ　エンジョイ　ウォーキング。

●歩かなくなった現代人

　現代人は歩かなくなった…とよく耳にしますが、実際にはどうでしょうか。

　現代のサラリーマン、主婦、小学生でみた一日の歩行量を調べたデータがあります（表参照）。運動不足を解消し、健康を維持するためには、一日一万歩は必要であるといわれます。ところが、この表を見てもお分かりのとおり、一万歩を超えているのは、ゴルフやハイキングなどの特別なイベントがあった日と、外で遊んでいる子どもたちだけ。大人に限っていえば、普通の生活をしているだけでは歩行量が不足しているのです。また、子どもにしても、家の中でTVゲームに夢中になっているようでは、一万歩には程遠いでしょう。

現代人の歩行量（１日の歩数）

サラリーマン	マイカー通勤	3.460歩
	バス・電車通勤	7.960歩
	ゴルフ(1ラウンド)	15.600歩
主婦	家事	5.320歩
	ハイキング(尾瀬)	31.500歩
	歩け歩け大会(25km)	40.800歩
小学生	室内遊び(雨)	6.080歩
	戸外遊び(晴)	14.200歩

●成人病は〝運動不足病〟

　運動不足が、さまざまな成人病を引き起こすことが分かっています。代表的なものでは、

①高血圧症

②高脂血症（血液中のコレステロールや中性脂肪が多くなる）

③心臓病（心筋梗塞や狭心症など）

が挙げられます。

●なぜウォーキングなのか

　ところで、「健康維持のためにも運動は欠かせない」「さあ運動しよう」となったとき、気をつけてほしいことがあります。それは、運動不足を解消するには、息の切れるような運動でなければ効果がないと錯覚してしまうことです。

　運動不足といっても運動の強さが不足しているわけではありません。運動の量が不足しているのです。

　そこで、軽い運動で、長く続けることのできるものとしてウォーキングが注目されているのです。一キロメートル走っただけでへたばってしまう人でも、歩くのなら二、三キロメートルと続けられるでしょう。よく、一キロメートル走るのと一キロメートル歩くのでは、エネルギーの消費量が違うと思われがちですが、これは大きな間違い。歩いても走っても距離が同じなら、消費されるエネルギーは同じなのです。

●HOW TO ウォーク

　歩くのにルールはありません。こういった気楽さがウォーキングの良いところでもあるのです。むずかしく考える必要はありません。そう、歩ける距離だけ歩けばいいでしょうし、歩きたいとき、歩けるときに歩けばいいのですから。

　また、歩く速度も自由です。散歩するときのゆっくりした歩行から、グングン歩く速歩まで、そのときの体調や気分に合った速度で歩いてみましょう。ただし、食事のすぐあとの運動はあまり好ましくありません。軽い散歩程度のウォーキングならともかく、速めに歩くのであれば、食後は避けましょう。

偉人たちも歩きながら考えた

　哲学者のアリストテレスは、歩きながら講義したことで知られています。

　医者のヒポクラテスは、歩くことがどんなに体に良いかを説き、自分でも実践した人物。また、カントは、哲学

の道と呼ばれる４～５キロメートルある坂道を歩きながら思索しました。

　一方、あのナポレオンも、歩きながら考えた人の一人。重要なことを考える際には、部屋をぐるぐる歩き回ったといわれています。

第５回　町民ウォーキング大会

　町民ウォーキング大会が次のとおり開催されます。多数ご参加ください。

日　時…９月20日（日）　午前８時45分出発

集合時間及び場所…午前８時　　役場前駐車場

コース…役場―あつかし山頂―役場（約10.6km）

■申し込み・問い合わせ

・保健課保健衛生係　☎(85)2111　内線141

～みんなで歩いて　健康づくり～

10月11～17日 秋の行政相談週間

住民の声に耳を傾け 行政に生かす

「役所への苦情や要望は、直接言いにくい」――こんな思いをしたことはありませんか。こういうときは、ぜひ行政相談委員にご相談ください。

行政相談委員は、総務庁長官の委嘱を受けて、国の行政機関をはじめ、JRやNTT、さらには住宅都市整備公団や公庫、事業団など特殊法人の仕事に対する苦情や要望などを受け付け、公平な第三者的立場で問題解決のお手伝いをします。

住民の声に耳を傾け、それを行政に生かす――それが行政相談委員の仕事です。

相談は無料で 秘密は守られる

総務庁福島行政監察事務所では、毎日相談に応じていますが、次の日程により「一日合同行政相談所」を開設しますので、行政に関する苦情や要望、意見などお気軽にお申し出ください。もちろん、相談は無料で、秘密は守られます。

◇日　時
10月14日(水)
午前10時～午後3時

◇場　所
福島市市民会館
福島市霞町1の52

■問い合わせ
・福島行政監察事務所
☎(34)1100

町の行政相談員は 内池さん

行政相談委員は、法律に基づいて総務庁長官から委嘱を受けた民間の有識者で、行政に対する苦情や要望を住民の皆さんから聞いて解決をしていく、最も身近な相談相手です。

行政のことで分からないことや困ったことがあれば、ぜひ行政相談委員にご相談ください。

〈行政相談委員〉
・内池　和子
国見町大字山崎字沢田10―9
☎(85)3320

成分献血に27人が協力

八月十九日、国見町福祉センター老人子ども室を会場とした、成分献血（オープン採血）を行い、27人（申込者は28人）の方々からご協力をいただきました。また、一般採血も2人（申込者は3人）の方々からご協力いただきました。

献血ありがとうございました
（順不同・敬称略）

〔成分献血〕
〈一般協力〉
斎藤正美…斎藤規雄
高橋勝美…佐藤ひろみ
阿部洋一…斎藤松男
〈コープマート国見〉
半沢アサ子…本間都
〈東栄電機〉
佐藤幸輔
〈国見町商工会〉
吉田とき子
〈朽木繊維〉
朽木好秋
〈国見町役場〉
後藤登美子…八巻忠義
武田智…遠藤喜正
菅野信朗…引地由則
菊地弘美…武田正裕
松浦昭一…吉田義勝
佐藤克成…羽根洋一
松浦幸雄…武田幹夫
菅原文子…佐藤和夫

〔一般献血〕
〈㈱安藤建設〉
●三浦博…伊藤高行

●印の方は400cc協力者です。

渡辺君東北大会で見事4位（県北中）

県北中二年の渡辺智徳君は、八月八日から秋田県で開かれた東北中学校選抜体育大会陸上競技の男子百㍍に出場し、11秒2の好記録をマーク、見事4位に入賞しました。また、八月十九日から新潟県で行われた全国大会にも出場、準決勝まで勝ち進みましたが、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

渡辺君は全国大会出場を前に、出場報告のため役場を訪れ、冨永町長から「日頃の練習成果を十分に発揮し、全国大会でも頑張ってください」と激励を受け、健闘を誓いました。

▲賞状を披露する渡辺君

国保

被保険者証の更新が始まります

現在、皆さんに交付している国民健康保険被保険者証（保険証）は、九月三十日で有効期間が切れ、使用できなくなります。

更新の方法は、各地区担当の国保協力員（母子保健推進員）に提出し、更新を受けることになりますので、次の日程まで国保被保険者証を、協力員宅に届けるようにお願いします。

地区	提出期限
森江野・大枝	9月22日
藤田・山崎	9月24日
小坂・大木戸 石母田	9月25日

なお、㊫被保険者証、㊮被保険者証の交付を受けている方も、有効期間が切れますので、いっしょに提出してください。

また、保険証を紛失された方は、印鑑を持参のうえ、役場保健課で本人が更新することになります。

■問い合わせ
・保健課国保係
☎(85)2111　内線143

ふるさとの文化財 ㉜

西根寺考

菊池利雄

　藤田の市街地の西部、旧塚野目村境沿いに中沢と称する字地がある。現在、町中にある浄土宗の感動山大千寺は、かってこの地にあったと伝えのある、廃絶していた西根寺を慶長四年（一五九九）に、僧応無が中興した寺院である。（「信達二郡村誌」）（「伊達郡寺院明細帳」では天正三年（一五七六）の開山とある。）

　現在、西根寺の具体的な跡地は明らかでないが、公立藤田総合病院のある塚野目字下三本木の東側に北寺田・南寺田があり、藤田との村境を流れる中沢川を挟んで、その対岸の地が中沢である。宝暦十一年（一七六一）の「御巡見使案内控」や、天保期（一八三〇―四三）の「藤田村絵図」（「国見町史」一・二巻）によれば、藤田の町頭西側に大千寺の末庵である「りゅうせう庵」の記載があり、絵図の方には太子と注記がほどこされている。また、その西側には五反田（福島消費組合コープマート国見店敷地）を挟んで太子堂の字地が残されており、これら浄土信仰や寺関連の地名からみて、西根寺の跡地は藤田市街地の南西、旧国道と新国道との間あたりが推定地とみられ、最近この辺りで土木工事を行った時、多くの人骨が出土したといわれ、墓地のあった可能性もあり、詳しい今後の調査に期待したい。

　西根寺の来歴についても定かでないが、平安時代の末期になると末法思想の強い影響下に、西方極楽浄土におわす阿弥陀仏に救いを求めて、ひたすら念仏を唱えればこの浄土に往生できるとし、法然やその弟子である親鸞などは活発な布教活動を行い、浄土宗、浄土真宗を開宗する。浄土真宗では、下野国高田の専修寺を布教の中心とした親鸞と弟子達の名を誌した「親鸞聖人門侶交名牒」によれば、この地域は奥州の伊達郡に住む性急が、「伊達門徒」と呼ばれる人々の布教にあたったとみられ、西根寺はその拠点であったとする説がある。（「福島県史」）親鸞が比叡山にあって仏教の修行にいそしんでいた頃、退廃した比叡山の教学に飽き足らず、法然の説く専修念仏の教えに心ひかれるが、山を降りる決断がつかずに、京の六角堂救世観音にこもり祈りを込めると、夢の中で聖徳太子のお告げがあり、意を決して法然の門下に入ったとの伝えから、浄土真宗では太子信仰があつく、中沢の西根寺と太子堂の関係もこれらに由来したものであろう。

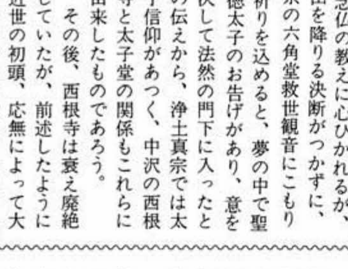
　その後、西根寺は衰え廃絶していたが、前述したように近世の初頭、応無によって大千寺と寺名を改めて再興され、宗旨も浄土真宗から浄土宗へ改宗された。現在は梅の名勝として知られるいわき市平山崎の、浄土宗名越流の古刹梅福山専称寺の末寺となっている。

　名越流は法然の弟子である弁長の興した鎮西流の一派で、孫弟子の良忠が鎌倉の名越に善導寺を建てて、関東・東北布教の拠点とした。専称寺はその流れをくむ良就によって、応永二年（一三九五）に創建され末寺が百余におよんだ、浄土宗名越流の本山である。

ビッグフェア 町の特産品を紹介

　県内九十市町村のふるさと産品を一堂に集めて展示、即売する「'92ふくしまビッグフェア」は八月二十一日から二十三日までの三日間、福島市桜木町の福島競馬場で開催されました。

　各市町村とも自慢の産品を持ち寄り、今年で二回目のこのビッグフェアに、国見町からはニット製品、桃、桑の実ジャム、ずんだ福餅、凍み餅などを出品、町の観光パンフレットや産品パンフレットなどを配布しながら、大勢の来場者に町の特産品をPRしました。



▲にぎわったふくしまビッグフェア

参加者募集

塚野目ロードレース大会

主　　催…塚野目スポーツ振興会
期　　日…10月25日（日）　雨天決行
　　　　　午後2時30分開会式
コ ー ス…塚野目集会所スタート・ゴール
参加資格…一般アマチュアで健康な方
参 加 費…幼児、小・中学生、高校生 500円
　　　　　親子の部 1,000円　一般男女 1,300円
表　　彰…上位入賞者には賞状と記念品、完走者全員に
参 加 賞…完走記録証、参加者全員に記念品を差し上げます。
種　　目…親子の部 500m
　　　　　小学男子・女子の部 1km
　　　　　一般女子の部 1km
　　　　　一般男子の部 3km
　　　　　エリートの部 6km
申し込み…参加料を添えて、10月9日まで大会事務局へお申し込みください

■問い合わせ
「塚野目ロードレース大会事務局」
代表　菊地富男　☎(85)4042

無料相談会が開催されます

十月一日は「法の日」です。法の日は国をあげて法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めることを目的として制定された日です。

福島県弁護士会、法律扶助協会福島県支部共催の「無料法律相談会」が、次のとおり開催されます。

◇日　時
10月1日(木)
午前10時～午後3時

◇場　所
福島地方裁判所構内弁護士控室

■問い合わせ
・福島県弁護士会
☎(34)2334

違反建築をなくしましょう!

10月11日から17日までの一週間、建設省、福島県では町や関係団体の協力を得て、「違反建築防止週間」を実施いたします。

この週間の目的は、良好な市街地の環境が形成されるよう、また、個々の建築物の安全性が確保されるよう理解を深めていただくことです。

また、この期間中、建築活動の盛んな地区を重点に、一斉公開建築パトロールを行います。

みんなで注意して、違反建築をなくしましょう。

作品募集

うつくしま、ふくしま。「ふれあい祭'92」

障害者の創作した絵画、書、写真及び工芸品等を一堂に展示し、障害者の文化活動の振興を図ることを目的に「ふれあい祭92」が開催されるにあたり、次のとおり作品を募集します。

◇展示期間
平成4年12月4日、5日

◇展示会場
福島県文化センター
(福島市春日町5―54)

◇応募作品
●日本画の部…水墨画を含む
●洋画の部…油絵、水彩、版画、パステルなど
●写真の部…カラー、モノクロを問わない
●書の部…漢字、かな、現代書、前衛を問わない
●工芸の部…彫刻、彫塑、手工芸品、その他工芸品

◇表　彰
各部門ごとに、優れた作品に対し優秀賞を贈呈。

◇出品者資格
県内に住所を有する15歳以上の障害者で、身体障害者手帳、療育手帳所持者とし、アマチュアであること。

◇出品手続き
出品を希望される方は、9月30日まで「ふれあい祭92実行委員会事務局」へお申し込みください。

■問い合わせ
●ふれあい祭92実行委員会事務局(福島県障害福祉課内)
☎(21)7171
●住民福祉課福祉係
☎(85)2111　内線134

高年齢者等の求人企業合同選考会

10月は「高年齢者雇用促進月間」です。

福島公共職業安定所及び福島商工会議所主催の「高年齢者等の求人企業合同選考会」が、次のとおり開催されます。

就職を希望される方や職業のことで相談を希望される方は、お気軽に参加してください。

◇日　時
10月20日(火)
午後1時30分～4時30分

◇場　所
福島市太田町13―15
福島グリーンパレス

◇携行品
自筆履歴書

■問い合わせ
・福島公共職業安定所
☎(34)4121

募　集

自衛官(女子)

自衛隊では、平成四年度第二次自衛官(2等陸・海・空士)採用試験(女子)を次のとおり実施します。

◇募集期限
平成4年9月30日まで

◇試験期日
平成4年10月7日(水)

◇試験会場
郡山市大槻町長右エ門林
陸上自衛隊郡山駐屯地

◇試験種目
・筆記試験・口述試験・身体検査

■申し込み・問い合わせ
福島市須川町5の5
自衛隊福島募集案内所
☎(31)5529

戦後強制抑留者の皆様へ

請求はお済みですか

戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留された方、またはそのご遺族に、内閣総理大臣名の慰労品(書状・銀杯)を贈呈しております。このうち、年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、併せて慰労金十万円が支給されます。

請求期限が平成五年三月三十一日までと迫っていますので、お早めにご請求ください。

なお、請求書類は役場住民福祉課福祉係にも置いてあります。

■請求・問い合わせ
〒112東京都文京区大塚5―3―13
平和祈念事業特別基金業務第2課
☎03・3945・4703

9月 今月の納税

(納期限…9月30日)
●固定資産税(第三期)

福島大学／学生募集

社会人特別選抜学生

平成五年度福島大学行政社会学部及び経済学部の「夜間主コース」社会人特別選抜学生を、次の要領で募集します。

◇**募集学科・人員**

①行政社会学部夜間主コース
- 行政学科…20人以内
- 応用社会学科…10人以内

②経済学部夜間主コース
- 経済学科
- 経営学科

〉30人以内

◇**出願資格**

次のいずれかに該当し、合格した場合、入学することを確約できる者。

(1)大学入学資格を有し、平成5年3月31日現在、年齢満23歳に達し、5年以上の社会人としての経験を有する者

(2)前記(1)以外の者で、現に就業し、入学後も就業を続ける意志をもち、次のいずれかに該当する者
- 平成4年3月以前に高等学校を卒業した者、または通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 平成5年3月に高等学校の定時制または通信制課程を卒業見込みの者
- 大学入学資格検定の合格者

◇**出願期間**

9月30日～10月6日

◇**試験科目**

小論文及び面接

◇**試験日**

行政社会学部…11月4日
経済学部…10月21日

◇**試験場所**

福島大学

■**要項請求・問い合わせ**

〒960－12福島市松川町浅川字直道2
福島大学学生部入学主幹付入学試験係
☎(48)5151内線2266

学生募集

県建設技術学院

福島県建設技術学院では、中堅建設技術者の養成をめざし、次の要領で平成五年度の学生を募集しています。

◇**募集期間**

平成4年9月1日～平成5年3月10日

◇**応募資格**
- 原則として18歳以上25歳までの男子
- 高等学校卒業程度の学力を有する者（平成4年度卒業見込みの者を含む）

◇**試験**

入学試験は、指定日に当学院で行います

◇**経費**
- 入学金…7万円
- 教育費…20万円（制服・教材・諸経費）

※授業料は、(財)福島県建設産業振興事業団が負担します。

◇**教育期間**
- 第1部…1年間
- 第2部…2年間

◇**教育科目**

○測量工学　○コンピューター工学　○土質工学　○工事管理

■**申し込み・問い合わせ**

〒964二本松市安達ケ原一丁目55の1
福島県建設技術学院
☎0243(23)0530

戸籍の窓口

（8月受付分）

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
竜（りゅう）	田島　敬治	宮東
翔（しょう）	渡辺　輝泰	錦町
大輔（だいすけ）	佐藤　弘明	第四
真澄（ますみ）	佐藤　孝	町東
智一（ともかず）	阿部　松次	貝田
綾（あや）	村上喜久夫	山崎沢田

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
高橋勝英	49	小坂
澁谷ヨシノ	84	光明寺
熊田タカイ	85	大町北
阿部クラ	94	大木戸
渡邊勝夫	68	山崎宮舘
高橋フク	80	山崎北

人口と世帯

9月1日現在(前月比)		8月中のうごき	
人口 男	5,771人（＋14）	転入	38人
人口 女	6,196人（＋7）	転出	17人
人口 計	11,967人（＋21）	出生	6人
世帯数	3,010戸（±0）	死亡	6人

こよみ

9月　長月（ながつき）

20日（日）動物愛護週間
21日（月）秋の全国交通安全週間
23日（水）秋分の日
24日（木）結核予防週間
　　　　環境衛生週間

10月　神無月（かんなづき）

1日（木）共同募金運動
　　　　体力つくり強調月間
3日（土）国際協力週間
10日（土）体育の日
15日（木）新聞週間

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室（東側入口からお入り下さい）
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

〔相談員〕

9月25日（金）吉田　三夫・山内　聰子
10月5日（月）阿部　俊恒・高野　時子
10月15日（木）後藤　一・簗瀬　貞子

公民館だより

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

少年仲間づくり教室 キャンプ活動

少年仲間づくり教室のキャンプ活動を八月三日より五日まで大玉村の県民の森で行いました。

今年のキャンプには、子ども五十九名、引率者九名、阿津賀志学級生三名、計七十一名とかつてない多くの参加があり、キャンプ場までの交通、テント設営や撤収、炊事などどれをとっても気苦労の多いものでした。

▲雨の中を元気にハイキング（遠藤ケ滝）

しかし、キャンプ場の県民の森は、広大な緑の中に施設も整備され、なによりなことは、ハイキングコースなどがあって変化に富んでおり、よいキャンプ活動ができたと思っております。

特に今回は阿津賀志学級生の方に参加していただき、キャンプ生活を通して子どもと高齢者が心のふれあいを図ることができたことは、最大の収穫でした。

少年仲間づくり教室 キャンプに参加して

阿津賀志学級　角田　寛

去る八月三日から二泊三日で行われた少年仲間づくり教室のキャンプに、世代交流を兼ね阿津賀志学級生に呼びかけがあり、参加する機会を得た。

安達郡大玉村の県民の森は以前通ったことはあったが、中に入るのは初めてだった。森が深く、朝からの小雨でうす寒いほどだったが、キャンプ場は相撲の土俵のように高く土が盛られ、砂が一杯敷いてあり良く整備された所だった。

あらかじめ九つの班に分かれていた小学生はじめ、全員元気いっぱいであった。早や駆け回る子供たち、テントを張る準備と大わらわ。やがて夕食の準備、今夜のメニューはカレーライス。初めて飯ごうでご飯を炊く係、野菜の係は少し高目の流し台に精一ぱい手を延ばして水道の蛇口で野菜を洗うなどを行う。

各自奮闘の甲斐がありおいしいカレーが出来上がり、自然の中で皆で食事をする楽しさを満喫した。夜はキャンプファイヤーで子供たちと童心にかえり楽しいひとときを過ごした。

▲今夜のメニューはカレーライス

翌朝、夜の疲れでぐっすり寝ていると思ったら、子供たちはとうに起きて大自然の中で伸び伸びと走り回り始めていた。

阿津賀志学級生は一泊二日の日程だったが、参加してみて、子供たちとのふれ合いは、改まった言葉より、何か一つの体験や行事を通して、世代間の交流の場をつくるのが一番効果があるのではないかと感じさせられた。今後もこのような機会があったら、ぜひ参加したいと思う。

アサガオの花 観賞会

阿津賀志学級が高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の一環として取り組んで来たアサガオ一人一鉢運動の成果を披露し合う観賞会が、去る八月十九日、町民体育館で開かれました。

当日は、町園芸愛好会長、秦三郎様の再三のご指導を受けながら、学級生が丹精込めて育て上げた約百鉢が展示されました。

会場内には、白、紅、紫、青など色鮮かなアサガオが並び、数多くの学級生や地区民の方々が訪れ、お互いの作品を熱心に見比べながら、批評し合ったりして、感心したり、楽しい有意義なひとときを過ごしました。

なお、秀作、佳作それぞれ十点ずつ選び、記念品が贈られました。

▲見事な出来栄えに見入る来場者

寄贈 ありがとうございました

○雑巾　五十枚
老人クラブ連合会婦人部様

○雑巾　多数
徳江字舘ケ崎　斎藤ミツ様

○石けん、食器　多数
森山字中上野　三の輪フヨ様

〈図　書〉
○信夫山めぐり　一冊
森山字中上野　三の輪フヨ様

ボランティア基礎講座

第二回の研修は、救急応急手当について伊達地方消防組合中央消防署西分署から講師を招き学習しました

出席者十八名は映画や署員の人形を使った応急手当のいろいろを見ながら、熱心にその説明をきいて勉強しました。人形による人工呼吸法にしても、いざやってみるとなかなか息が入りません。それが生身の人間だと、なお入りにくいとのことでした。ただ健康な人を相手に人工呼吸は危険ですので、人形で練習するほかありませんし、西分署には二体しかないそうですので練習の機会は少いのですが、これに慣れることは大切なことです。呼吸や心臓の停止から3分以内の応急手当によって75%の人が助かるそうです。

心臓マッサージも呼気吹込み呼吸法と併用しなければなりません。

救急車により病院に運ばれる人の60%は急病人です。身近かな人、愛する家族の人が急病やケガで倒れた場合、生死をわけるわずかの時間が、きめ手になります。さあ、あなたならどうしますか。救急車が来る前にやることがあります。

冷静に観察し、意識があるか、呼吸があるか、心臓が動いているかを確かめる。そしてそれに対応した適切な処置を迅速に勇気をもって実行することです。真剣にやれば、気おのずから通ず、わずかな知識や記憶を頼りに実行して、命が助かった例はよく耳にします。確実な応急法を身につけていれば多くの人の命を救うことができるのです。九月九日は「救急の日」、それを機会に講習を受けましょう。西分署（桑折町上郡―電話八二―三一九〇）に申込めば何時でもやってくれます。

優勝　藤田スポ少A

町スポーツ少年団ソフトボール大会が、八月二十三日、町民運動場で行われました。大会には、六チームが参加し、実力伯仲の熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。

優　勝　藤田A
準優勝　藤田B
第三位　大木戸A、森江野B

なお、優勝チームは、九月六日に行われた伊達地方少年ソフトボール大会に町代表として出場し、準優勝しました。

高齢者・婦人運動会

"元気はつらつ　今日も幸せ"

高齢者と婦人の皆さんの健康づくりのため、次のとおり運動会を開きますので、誘い合って多数参加されますようお待ちしております。

記

○と　き　10月10日（体育の日）9時開会
○ところ　藤田小校庭（雨天のときは、町民体育館）
○参加資格　・60歳以上の方と婦人
　・1人でも自由に参加できます
○種　目　楽しく、新しい種目を準備しております

バウンドテニス教室

バウンドテニスは、老若男女だれでも気軽に楽しめる軽スポーツです。一緒にいい汗流しましょう。

・主　催　国見町バウンドテニスクラブ
・日　時　昼間コース　10月2.9.16.23日（金）
　AM 9：30～12：00
　夜間コース　10月4.11.18.25（日）
　PM 7：30～9：00
・ところ　町民体育館
・内　容　初歩的な実技指導
・指導者　町バウンドテニスクラブ員（公認指導員）
・対象者　一般成人および在勤者
・受講料　無　料
・申込先　鈴木孝雄まで　☎85―2393

行事のお知らせ

月	日	曜	行事	月	日	曜	行事
9	16	水	・くにみ女性教室移動学習（料理実習と見学）	9	30	水	・くにみ女性教室．成人学級（七宝焼）
	17	木	・子ども移動図書館（藤田小1年）				・子ども移動図書館（藤田小3年）
	21	月	・子育て教室、野外活動（半田沼）	10	1	木	・子ども移動図書館（藤田小2年）
	22	火	・高齢者・婦人運動会打ち合わせ		6	火	・阿津賀志学級グループ学習（書道）
			・阿津賀志学級グループ学習（書道）				・子ども移動図書館（森江野小）
	24	木	・子ども移動図書館（藤田小2年）		7	水	・くにみ女性教室．成人学級（七宝焼）
			・阿津賀志学級グループ学習（七宝焼）		8	木	・子ども移動図書館（大枝小）
	25	金	・町長杯ゲートボール大会（森山コート）		10	土	・高齢者．婦人運動会
	28	月	・阿津賀志学級グループ学習（はり絵）		11	日	・少年仲間づくり教室
			・子ども移動図書館（小坂小）		13	日	・阿津賀志学級グループ学習（はり絵）
	29	火	・阿津賀志学級(奉仕作業.交通安全.草花の育て方)				
備考			・子ども移動図書館の創作活動は、おりぞめ				

歩道に花を植栽

毎年八月は「道路をまもる月間」。

建設省福島工事事務所国道維持出張所では八月二十八日、県北中学校の科学技術クラブ（五十嵐和彦部長）の生徒の皆さんや、上野町内会の皆さんの協力を得て、石母田字上野地区の国道沿いの花壇に花を植えました。

花が植えられたのは、道路の美化を目的として設置された国道四号沿いに面する九か所の花壇。植えられた花は、サルビアとマリーゴールド、合わせて約八百本。

植栽には、大和恒哉国道維持出張所長、冨永町長、渋谷上野町内会長、斎藤県北中校長をはじめ約三十人が参加し一本一本ていねいに花を植え付けました。

▲花を植える県北中生の皆さん

貝田駅をきれいに

貝田老人クラブ（佐藤市太郎会長）の皆さんは八月三十一日から九月二日までの三日間にわたり、JR貝田駅構内の雑木雑草の刈り払いを行いました。

強い日差しの下、奉仕作業に参加した皆さんは「貝田駅をきれいにして、利用者の皆さんに気持ちよく使って欲しい」と語っており、構内は見違えるほどきれいになりました。

▲雑草の刈り払いをする貝田老人クラブの皆さん

大にぎわい サマーフェスティバル

町商工会青年部（穂苅榮治部長）主催の「第五回サマーフェスティバル」は八月八日、町中心部の商店街を歩行者天国にして開催されました。

商店街と町の活性化を図ろうと毎年行われているもので、乗馬やもちつき大会、輪投げ、射的、宝くじゲームなど、趣向を凝らしたイベントが繰り広げられ、多くのチビっ子たちでにぎわいました。

夕方からは、会場中央に設けられた特設やぐらを囲み、子どもと大人の部に分けた盆踊りがスタート。浴衣姿や仮装に身を包んだ大勢の人たちが、祭りを盛り上げました。

▲にぎやかに開かれたサマーフェスティバル

人形劇で交通ルールを学ぶ

国見町交通安全母の会（安田節子会長）の交通安全教室は九月一日、三日の二日間にわたり町内五か所の保育所で行われ、人形劇や腹話術を楽しみながら、交通安全の知識について学びました。

今年は、福島市の飯坂町交通安全母の会（佐藤和子会長）の協力をいただき、佐藤会長が腹話術人形「平和太郎」を使って、語りかけと手品で交通ルールを説明。また、魔法使いが登場する「ポンペリポッサ」や、子どもたちにおなじみの「三びきのこぶた」も上演され、子どもたちは楽しく交通ルールを学んでいました。

▲交通安全を呼び掛ける平和太郎君

ふくしま駅伝
上位入賞を目指し 第一次合宿

「町駅伝競走部」（神津武志部長・部員36名）の皆さんは、十一月二十二日に開催される第四回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（略称・ふくしま駅伝）での上位入賞を目指し、八月八日、九日の二日間、山形県月山で第一次合宿を行いました。

合宿には十六名が参加し、あいにくの悪天候の中、月山での高地トレーニングをはじめ、起伏ロードなどに汗を流しました。

今後は福島市高湯、相馬市で行う二回の合宿をはじめ、合同練習を積み重ね走力、持久力のアップをはかり、本番での上位入賞を目指します。

編集日記

○予防に勝る治療なし。健康のありがたさ、それを知っているのは病人だけ――ケーシー高峰先生の健康づくり公演会での結びのことば――

発行・編集　国見町総務課　福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二ー2の1
〒九六九ー一七　☎（〇二四五）八五ー二一一一（代表）